

令和5年度 第1回神奈川県立生田高等学校学校運営協議会結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立生田高等学校学校運営協議会
開催日時	令和5年6月14日(水) 15時30分～16時30分
開催場所	神奈川県立生田高等学校会議室
出席者 (役職名)	<p>学校運営協議会委員</p> <p>米山 福吉 (多摩区長沢地区自治会長) 原山 修 (多摩区長沢商店会長) 中村 隆英 (川崎市立生田中学校長) 嶋田総太郎 (明治大学理工学部教務主任・電気電子生命学科・教授) 飯沢 知久 (本校PTA会長) 布川 勝也 (本校校長)</p> <p>齋野 保史 (川崎市立稗原小学校長) ※所用のため欠席 脇本 健弘 (横浜国立大学教職大学院准教授) ※所用のため欠席</p> <p>本校職員</p> <p>小原 正寛 (副校長) 杉山 崇裕 (教頭) 檜垣 桜子 (事務長) 根津 玲子 (総括教諭・学習支援Gリーダー) 橋本 未来 (総括教諭・進路支援Gリーダー) 石原 和彦 (総括教諭・生活支援Gリーダー) 宇都宮 亘 (総括教諭・生徒活動支援Gリーダー) 鯨吉 剛 (総括教諭・研究開発Gリーダー) 牧野 篤敬 (総括教諭・管理・運営Gリーダー)</p> <p>品田 直樹 (記録 教諭・研究開発G) 川名 慶 (記録 教諭・研究開発G)</p>
次回開催予定日	令和5年10月
問合せ先	<p>担当者名 神奈川県立生田高等学校 研究開発G 鯨吉剛</p> <p>電話番号 044-977-3800</p> <p>FAX番号 044-976-9398</p>

審議(会議)経過	<p>議事(司会:教頭)</p> <p>○「神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条2により、本日5名の委員の方が出席されているので、本協議会の開催は成立する。</p> <p>1 校長挨拶</p> <p>○お忙しい中、天候の優れない中の参加に感謝する。</p> <p>○(配付資料についての概要説明)</p> <p>○学校運営に参画していただくための会なので、忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>2 会長・副会長の選出</p> <p>○委員の方々にご賛同いただき、飯沢会長、布川副会長を選出した。(会長より)</p> <p>○学校運営を地域から客観的に見て、様々なご意見をいただき、学校運営をより良くしていきたい。子どもたちのために多くのご意見をいただきたい。</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 学校保健委員会について</p> <p>○第3条 構成について(副校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常は小委員会ごとに活動する。地域は学校運営協議会をもってこれを充てるということで校内の承諾を得ている。 <p>(2) 令和5年度目標設定について</p> <p>○資料に基づき、各グループより説明を行った。(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理数探究基礎の設置については、どのような流れで進むのか。→教科書の選定、実施形態や指導内容の検討などがある。 ・地域との協働という話があったが、具体的にPTAとのディスカッションの予定等はあるか。→行事等の際に検討していく予定である。 ・SSHは非常に高い目標だと思うが、良い取り組みだと思う。SSHであるか否かを重視する保護者もいるので、ぜひ差別化して欲しい。 ・にこにこハーモニーはどのような形で進めるかは決まっているか。→百合ヶ丘高校で打合せがあるので、そこで概要を確認する。 <p>(3) 理数教育推進について</p> <p>○単年度(令和5年度)の計画について</p>
----------	--

○SSH指定までのロードマップについて

(校長)

- ・今の指定が令和6年までの予定だが、2期目の指定があるという前提で進められている。2期目は令和7～9年になる。

(委員より)

- ・具体的に計画されていて素晴らしいと思うが理数系の先生方の負担が増えるのではないかと思うが、数も増やす形になるのではないか。

→理科の先生方にはすでに対応してもらっているが、数学の先生にも負担いただくようになると思う。オンラインの活用も含めて検討している。

- ・外部連携について、企業に期待することは何か。

→企業にお願いしたいのは、一番は探究の中で生徒自身の研究について、また、実験の部分のアドバイスなどである。そのため、一社だけではなく、複数の企業にお願いすることを考えている。

以上、3(1)～(3)について、委員から了承を得た。

○委員の方から一言ずついただいた。

- ・災害が多く発生しているので、起こった後のコミュニティを大事にして、災害や二次災害の縮小について協力していければと思う。
- ・7月19日に薬物に関する講座があると聞いているので、ぜひ参考にさせていただきたい。
- ・「社会を明るくする運動」の標語のパネルを作っており、小・中学校に掲出してもらっていたが、今年は高校にもお願いするのでご協力をお願いしたい。
- ・PTAが学校見学にも今後伺わせていただく。進学希望の生徒が多いので、理数教育の部分は話を詳しく聞きたいと思う。
- ・大学も高大連携を進めていて、明治大学も世田谷に付属ができる。理数教育の部分などで連携を強めていけたらと思う。
- ・SSHは大きなチャレンジになると思うので、全面的にバックアップしたい。
- ・数ある高校の中での学校選びについては、SSHは一つの選択肢になる。ぜひ指定を受けて、優秀な生徒が集まるようにしていただけるとよい。そのための協力をしていきたい。

(校長)

- ・自然科学コースがなくなった後も、その取組みが続いた結果、生田高校の現在があり、理数教育を推進する基礎となっている。科学部の活動などで京都大学ともつながっている。理系志望者が多いが、文系も含めて、科学的手法を身につけていくことが大切で

	<p>ある。また、なんと言っても明治大学との連携による様々なご支援の力は大きく、非常に恵まれている。</p> <ul style="list-style-type: none">・委員から災害の話があったが、以前、全国的にも有名な学校運営協議会の活動をしている小学校があり、その協議会主催の防災訓練があった。生田高校が一つの拠点となって、そのように広げていければよいと思う。お互いに助け合って備えていく必要があると思う。・文理両道、能力伸長で進めていきたいと思っているので、今後ともよろしく願いしたい。 <p>閉会</p>
--	--